３月定例会号
No. 198
令和７年５月発行

あつま 議会だより

4月4日
こども園つみき入園式

第１回定例会 …… 2～5
第９回、第１回～第２回臨時会 …… 6
全員協議会 …… 7
令和７年度予算を認定 …… 8～12
委員会活動レポート
　総務文教常任委員会 …… 13
　産業建設常任委員会 …… 14
　新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会 …… 15
　風力発電施設に関する調査特別委員会 …… 16
一般質問「ここが聞きたい」 …… 17～22
　折坂泰宏、橋本豊、伊藤富志夫、寺坂康生、澤口千里、菅原文子６氏が問う
議決案件（賛否状況） …… 23～25
議会のうごき、スポーツ少年団紹介（厚真柔道スポーツ少年団） …… 26

■発行／厚真町議会　■編集／議会広報特別委員会　〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町120　Tel０１４５-２７-２４８５（直通）　Fax０１４５-２７-２３２８
ホームページ　http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/　メールアドレス　gikai@town.atsuma.lg.jp

3月定例会

第1回定例会が3月4日～12日に開催され、町長の施政方針、予算説明、教育長の教育行政執行方針、行政報告、6人の議員による一般質問のほか、議案18件、報告6件、認定1件を審議し、会期中に予算審査特別委員会を設置し令和7年度各会計歳入歳出予算を全会一致で可決した。

また、議会から閉会中の総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会、風力発電施設に関する調査特別委員会の事務調査の報告がされた。

議案第1号～議案第6号 令和7年度厚真町各会計歳入歳出予算の認定

令和7年度各会計歳入歳出予算の詳細については、8～12ページに掲載。

委員長　秋永　徹
副委員長　伊藤富志夫

議案第7号 令和6年度厚真町一般会計補正予算（第18号）

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億4671万円を減額し、歳入歳出予算の総額を124億1032万円とした。

主な事業は、各事業完了による減額の他、避難所生活環境向上事業267万1円、子育て支援給付事業258万円の追加ほか。

議案第8号 令和6年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ373万円を減額し、歳入歳出予算の総額を6億1866万円とした。

議案第9号 令和6年度厚真町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ318万円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億785万円とした。

議案第10号 厚真町表彰条例の一部改正

改正内容

「栄誉章」から「栄誉賞」に改める。

第7条第2項中に「第4条の栄誉賞等の授与及び」を加える。

施行期日

令和7年4月1日から施行する。

議案第11号 厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

改正内容

人事院が行った、「公務員人事管理に関する報告」に対応する為、①時間外労働の制限を子どもが3歳になるまでから小学校就学前の子どもを持つ職員へと範囲の拡大。②仕事と介護の両立支援制度を職員が利用しやすくするため、研修の実施・相談体制の整備・休業や制度利用の事例収集と提供・休業や制度利用促進についての方針の周知。③介護に直面した職員への両立支援制度の個別周知や意向確認。以上の勤務環境の整備。

施行期日

令和7年4月1日から施行する。

議案第12号 厚真町職員の育児休暇等に関する条例の一部改正

改正内容

当該非常勤職員が育児時間又は育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の変更に伴う一部改正。

施行期日

令和7年4月1日から施行する。

議案第13号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正

改正内容

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正。

施行期日

令和7年4月1日から施行する。

議案第14号 厚真町外国青年英語指導助手の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正

改正内容

それぞれ報酬額の引き上げ。

1年目、28万円を33万5千円
2年目、30万円を34万5千円
3年目、32万5千円を35万5千円
4年目、5年目、33万円を36万円

施行期日

令和7年4月1日から施行する。

議案第15号 厚真町国民健康保険条例の一部改正

改正の内容

1　国民健康保険法施行令の一部を改正する政令に伴う改正。

①　国民健康保険の保険料の賦課限度額を65万円

から66万円に引き上げ。後期高齢者支援金等賦課額に係る賦課限度額を24万円から26万円に引き上げ。

② 低所得者の保険料の減額に係る所得判定基準の変更に伴い、5割軽減については29万5千円から30万5千円に、2割軽減については54万5千円から56万円にそれぞれ引き上げ。

2 北海道の示す令和7年度国民健康保険料標準保険料率に合わせて保険料率の改定。

施行期日

令和7年4月1日に施行する。

議案16第号 厚真町子育て支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

改正内容

上厚真エコタウン字上厚真18番地1を追加。

施行期日

令和7年4月1日から施行する。

議案第17号 財産の取得

財産の名称

地域優良賃貸住宅3棟

規模・構造等

①住所 字上厚真18－1
構造 木造平屋
延床面積 102・37㎡

②住所 字上厚真18－1
構造 木造平屋
延床面積 109・72㎡

③住所 字上厚真18－1
構造 木造2階建て
延床面積 105・16㎡

①住所 字上厚真18－1
構造 木造平屋
延床面積 102・37㎡

②住所 字上厚真18－1
構造 木造平屋
延床面積 101・84㎡

財産の種類

不動産（建物）

取得の方法

随意契約

取得金額

9680万円

取得の相手方

大鎮キムラ建設株式会社

議案第18号 財産の取得

財産の名称

地域優良賃貸住宅2棟

規模・構造等

不動産（建物）

取得の方法

随意契約

取得金額

6798万円

取得の相手方

武山・リウム・アカサカ共同企業体

承認第1号 専決処分の承認（令和6年度厚真町一般会計補正予算（第17号））

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を126億5704万円とした。

理由 除雪委託料の追加。

報告第1号 専決処分の報告（町道軽舞豊丘線官光橋架替工事（下部工）請負契約の変更）

契約の目的

設計変更による契約金額の変更。

変更の理由

発生土の運搬箇所、大型土のうの数量及びアスファルト殻・コンクリート殻の数量変更による撤去工の数量それぞれの変更による。

変更金額

9526万円を9569万円に変更。

契約の相手方

北辰・沼田経常建設共同企業体

報告第2号 専決処分の報告（令和6年度町道幌内左岸線道路改良舗装工事請負契約の変更）

契約の目的

設計変更による契約金額の変更。

変更の理由

発生土の再利用の予定が凍土または不良土が確認されたことによる路盤工及びアスファルト処理施工の減。仮設道路の施工に伴う盛土材の一部購入による変更。

変更金額

1億3772万円を1億4092万円に変更。

契約の相手方

北辰・野沢・厚信特定建設共同企業体

報告第3号 専決処分の報告（町道表町バイパス線道路改良舗装工事請負契約の変更）

契約の目的

設計変更による契約金額の変更及び工期延長。

変更の理由

道路横断管渠の設置。道路警戒標識、道路分離標の設置。外側線の施工を厳冬期に行うことが困難であるための工期延長。

変更金額

1億7886万円を1億8214万円に変更。

契約の相手方

丸斗・森田・今多特定建設共同企業体

報告第4号 所管事務調査報告（各常任委員会）

詳細は、13ページから14ページに記載。

報告第5号 所管事務調査報告（新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会、風力発電施設に関する調査特別委員会）

詳細は、15ページから16ページに記載。

報告第6号 現金出納例月検査の結果報告

監査委員から、令和6年11月分、12月分、令和7年1月分の報告があった。

一般会計補正予算（抜粋）

2億4671万円を減額し、歳入歳出予算の総額が
124億1032万円となる。

低所得世帯給付金支給事業

補正額　1627万円
住民課福祉Ｇ

補正の目的

定額減税において、令和６年分所得等が確定し、令和５年所得等を基にした推計額である当初調整給付との差額が生じた者に対して、その差額を支給する。

事業の概要

１　支給見込み人数　800人
２　支給額
不足額給付時調整給付所要額－当初調整給付額＝不足額給付額　※端数は１万円単位切上げ
３　支給開始時期　令和７年６月以降（予定）
４　予算内訳
⑴ 不足額給付金　1200万円
⑵ 事務費（システム改修等）　427万円

財源内訳

国　1627万円

経営体育成事業

3770万円
産業経済課農業Ｇ

補正の目的

地域計画が策定されている地域において、省力化技術の導入等により、経営構造の転換・経営発展を図ろうとする担い手が、融資を活用するなどして農業用機械・施設を導入する際、補助金を交付することにより、主体的な経営確立を支援する。

事業の概要

１　事業採択件数　２件
２　整備内容　トラクター、コンバイン等　11台
３　事業費
総事業費　8350万円
うち補助金　3770万円（補助率：１／２以内）

財源内訳

道　3770万円

漁業振興事業

補正額　175万円
産業経済課経済Ｇ

補正の目的

漁船に搭載しているエンジンについて、近年物価高騰等の要因により値上がりしているため、組合員の負担軽減を目的とするとともに、脱炭素及びＧＸに資するエンジン更新に係る経費の一部を補助する。

事業の概要

１　補助対象者
厚真町に住所を有する鵡川漁業協同組合員
２　補助要件　国の競争力強化型機器等導入対策事業に採択されていること。
３　補助金額　対象経費の５％の額（上限100万円）

財源内訳

一般財源　175万円

一般管理事業

補正額　770万円
産業経済課経済Ｇ

補正の目的

地域資源を活用した新たな観光コンテンツ開発及び既存コンテンツの情報発信力強化等により、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図る。

事業の概要

１　事業名　資源活用型・情報発信事業補助金
⑴ 森林を活用した「体感型企業研修コンテンツ」の開発
⑵ デジタル技術による情報発信
厚真町版メタバース空間を作成し情報発信、町及び（一社）厚真町観光協会等と連携し、既存コンテンツとの連携し、実施する。
２　補助団体　ATSUMANOKI96

財源内訳

その他財源（企業版ふるさと納税）　770万円

避難所生活環境向上事業

補正額　2671万円

総務課情報防災Ｇ

補正の目的

国において令和６年度補正予算で新設された「新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）」を活用し、不足している災害備蓄品の充実と新たな視点での資器材を導入し、大規模災害時における避難所生活の改善を図る。

事業の概要

１　防災備蓄品・資機材の購入

学校等を中心とした大型避難所５箇所を中心に、トイレ、キッチン（食事）、ベッド（住環境）と寒冷地における暖房設備の視点から避難所における生活環境の改善を図る。なお、購入する資器材は平時における防災訓練や啓発活動等において活用する。

⑴　トイレ環境の改善　629万円
⑵　食事提供環境の改善　380万円
⑶　避難所における居住空間の改善　1083万円
⑷　大型避難空間における暖房施設の導入　579万円

財源内訳

国　1330万円
一般財源　1341万円

起業推進事業

補正額　72万円

産業経済課経済Ｇ

補正の目的

起業に向けた取組みを支援するため起業時における開業経費等の必要な経費の負担を軽減することにより、新たな起業への取り組みを奨励し、それをもって地域経済の活性化を図る。

事業の概要

⑴　補助対象者
ア．起業を予定している者または起業後３年経過していない者
イ．厚真町内に住所を有している個人または本社所在地を厚真町内に置く法人
⑵　補助率　１／２以内
⑶　補助限度額
200万円（空き店舗を活用の場合250万円）
⑷　補助対象期間
ア．事業計画の認定を受けた日から起算して次に迎える３月31日まで
イ．複数年事業計画の認定を受けている場合は、２年目、３年目ともに４月１日から３月31日まで
⑸　新規申請　１件（200万円）

財源内訳

一般財源　72万円

農業施設等災害復旧事業

補正額　1216万円

産業経済課農業農村整備Ｇ

補正の目的

令和６年８月27日の大雨により農業施設等に被災された方に対し補助金の交付等、緊急に必要な措置を実施するため、「災害復旧事業特別要綱」を制定し、被災者の生活安定及び生産基盤の早期復旧を図る。

事業の概要

１　対象事業補助率
⑴　事業費が50万円以下　75％
⑵　事業費が50万円を超え100万円以下　85％
⑶　事業費が100万円を超える　90％

２　事業実施主体　厚真町土地改良区

３　被災地区および総事業費

地区名	金　額
高丘地区	6583 万円
桜丘・朝日・本郷・幌里地区	605 万円
幌内・富里地区	1073 万円
宇隆・美里地区	169 万円
豊沢・軽舞地区	653 万円
計	9083 万円

※　うち補助金 7895 万円

４　事業費
⑴　災害復旧事業費　1316万円
⑵　補助金額　1160万円
⑶　委託料　56万円

財源内訳

一般財源　1216万円

第9回臨時会
12月27日開会

議案第1号
令和6年度厚真町一般会計補正予算（第14号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5730万円を追加し、歳入歳出予算の総額を122億5268万円とした。

庁舎周辺等整備事業費削減にむけた基本設計の一部見直し及び公募型プロポーザル審査に向け、要求水準書の修正を行う。

あわせて新たに文化交流施設等運営検討会議を設置する。

第1回臨時会
1月10日開会

議案第1号
苫小牧港港湾区域内の公有水面埋立てに係る意見

埋立位置
勇払郡厚真町字浜厚真661番地先公有水面。

埋立面積
1299・30㎡

埋立地の用途
ふ頭用地

議案第2号
厚真町議会議員期末手当支給条例の一部改正

議案第3号
厚真町特別職の給与に関する条例の一部改正

令和6年人事院勧告による一般職の給与に関する法律の改正に伴う期末手当支給額の改定。

改正内容
期末手当の支給月を4・5月分から4・6月分（0・1月分の増）

議案第4号
厚真町一般職の給与に関する条例の一部改正

令和6年人事院勧告による一般職の給与に関する法律の改正に伴う給料、期末・勤勉手当の支給率及び配偶者に係る扶養手当の廃止、子に係る扶養手当の引き上げ等。

改正内容
① 初任給を大幅に引き上げ
② 若年層に重点を置きつつ、全ての職員を対象に給料表を上昇改定

議案第5号
厚真町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

改正内容
一般職に準じた給与表の改定。

議案第6号
厚真町職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正

令和6年人事院勧告による国家公務員の寒冷地手当に関する法律の改正に伴う寒冷地支給額の改定。

議案第7号
令和6年度厚真町一般会計補正予算（第15号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5655万円を追加し、歳入歳出予算の総額を12億924万円とした。

主な事業は、人事院勧告に伴う議員・特別職期末手当、一般職・会計年度任用職員の給与及び期末手当の改正による増額、低所得世帯給付金支給事業。

議案第8号
令和6年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ131万円を追加し、歳入歳出予算の総額を6億2239万円とした。

人事院勧告に伴う会計年度任用職員の給与及び期末手当などの増額。

議案第9号
令和6年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第5号））

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ108万円を追加し、歳入歳出予算の総額を6億511万円とした。

人事院勧告に伴う会計年度任用職員の給与及び期末手当などの増額。

議案第10号
令和6年度厚真町簡易水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入の営業外収益に42万円を追加し、総額を3億4607万円に、収益的支出の営業費用に42万円を追加し、総額を4億8527万円とした。

人事院勧告に伴う職員の給与及び期末手当などの増額。

議案第11号
令和6年度厚真町下水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入の営業外収益、収益的支出の営業費用にそれぞれ39万円を追加し、総額をそれぞれ2億3759万円とした。

人事院勧告に伴う職員の給与及び期末手当などの増額。

請願第1号
（仮称）苫東厚真風力発電事業計画の地域住民との合意なき事業推進に反対

風力発電施設に関する調査特別委員長から、結果報告があった。

第2回臨時会
2月3日開会

議案第1号
林業専用道（規格相当）幌里チケッペ線開設工事請負契約の変更

改正内容
契約金額「6671万円」を「7331万円」に改める。

議案第2号
令和6年度厚真町一般会計補正予算（第16号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億2779万円を追加し、歳入歳出予算の総額を12億6703万円とした。

主な事業は、子育て支援事業、物価高騰経済対策事業。

承認第1号
専決処分の承認 令和6年度厚真町介護保険事業特別補正予算（介護サービス事業勘定補正予算（第3号））

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ128万円を追加し、歳入歳出予算の総額を4881万円とした。

高齢者グループホームやわらぎ火災報知設備の誤作動による電気設備等の修繕のため。

全員協議会

令和７年２月３日は、大沼野営場の町民優待についてと企業版ふるさと納税の活用についての２件、３月12日は、厚真町特定居住促進計画の策定についての１件、町から説明を受けた。

２月３日開催

◆大沼野営場の町民優待について

令和６年９月28日からの約４か月間の運用実績を踏まえ、町と管理者で協議を行い、次のとおり、町民優待を実施したい。

(1)町民優待開始年月日

令和７年３月１日(土)

(2)優待内容　厚真町民の「基本使用料」を無料とする。(通常　大人１３５０円、小人８５０円)

ア　ただし、ゴールデンウィーク、シルバーウィーク等の大型連休時は除く。

イ　厚真町民である旨を運転免許証等により証明をすること。

ウ　サイト使用料のみ発生する。

(参考)

大人２名、小人２名が区画サイトで１泊キャンプ利用する場合

・基本使用料（１３５０円×２名）＋（８５０円×２名）＝４４００円

・区画サイト料　２５００円

合計

・通常　６９００円

・町民　２５００円

※４４００円の優待

種別			区分	単位	料金
(1)	基本使用料	－	大人	1泊	1,350円
			小人		850円
(2)	サイト使用料	電源サイト	－	1区画	3,500円
(3)		プライベートサイト			4,000円
(4)		区画サイト			2,500円
(5)		フリーサイト		1泊	2,500円
(6)		ソロサイト			

（備考）
※１泊の使用時間は、午後１時から翌日午前11時まで
※大人（高校生以上）、小人（小学生及び中学生）となります。
※未就学児の基本使用料は無料となります。
※上記の料金を上限として収受をするものとします。

◆企業版ふるさと納税の活用について

１　企業版ふるさと納税とは

平成28年度に創設された制度であり、国が認定した地域再生計画に位置付けされている地方公共団体の地方再生プロジェクトに対し、企業は寄附ができる仕組み。

２　企業版ふるさと納税による寄附の予定

(1)企業名　エア・ウォーター北海道・産業ガス㈱

(2)寄附予定額　７７０万円

(3)寄附経緯

２０２４年度の募集にあたり、本町の地域資源を活用した新たな観光コンテンツの開発及び既存コンテンツの情報発信力強化等により、各産業従事者の所得向上や地域経済を活性化させるため、事業提案を行い、寄附市町村の一つとして、本町が選定された。

３　寄附の活用

企業からは、本町の地域再生計画における「ここで暮らせると自信が持てる、持続可能な仕事づくり事業」に対して、寄附の申し出があった。

(1)事業名（仮称）

森林を活用した体験型企業研修による関係人口創出事業

(2)事業概要

ア　森林を活用した「体感型企業研修コンテンツによる関係人口」の開発。

イ　デジタル技術導入による情報発信。

４　今後の予定

(1)令和７年３月定例会において歳入歳出の予算を上程予定。

(2)補助交付先・実施主体

・一般社団法人　ＡＴＳＵＭＡＮＯＫＩ96（代表　中川貴之）

２０２１年に厚真町内の林業者やデザイナー等により組織された法人。

また、デジタル技術導入による情報発信を行う上で、町及び一般社団法人厚真町観光協会等と連携しながら実施する予定。

３月12日開催

◆特定居住(二地域居住)促進計画策定について

１．特定居住（二地域居住）とは

主に都市部と地方部など複数の地域に居住し、生活を行うスタイルを指す。

２．二地域居住のメリット

○生活多様性

都市と地方の良さを享受

○地域活性化

地方に住む人が増えることで地域経済の活性化

○自然と共生

自然環境の中での生活が可能になり心身のリフレッシュ

○コミュニティの形成

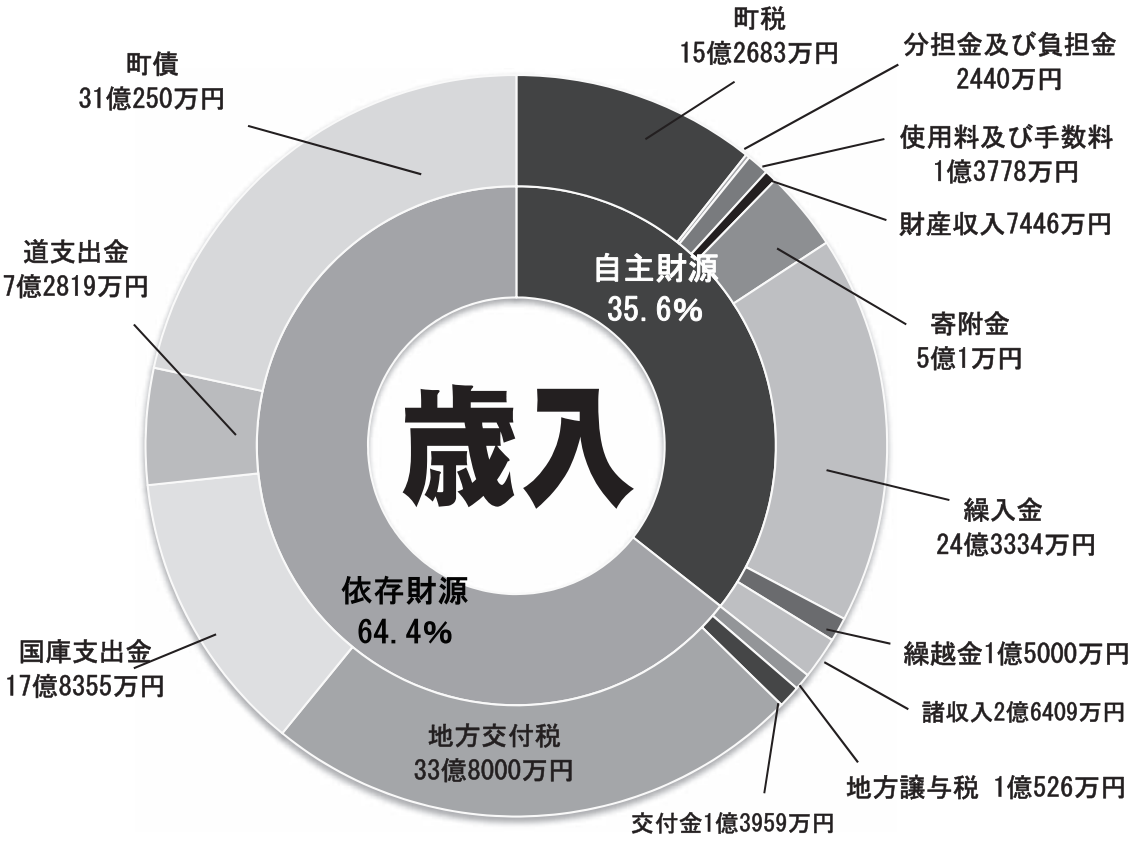
新たな人間関係やコミュニティの形成

３．特定居住促進計画による効果

①財政的支援
②地域資源の活用
③人材の誘致
④地域間連携の強化
⑤地域住民の意識向上

令和７年度予算

令和７年度各会計歳入歳出予算は、３月６～11日の４日間、町議会に設置された予算審査特別委員会（秋永徹委員長）で慎重に審査を行い、３月12日開催の第１回定例会において全会一致で可決・認定しました。



※万円以下は四捨五入

【別表】交付金（内訳）

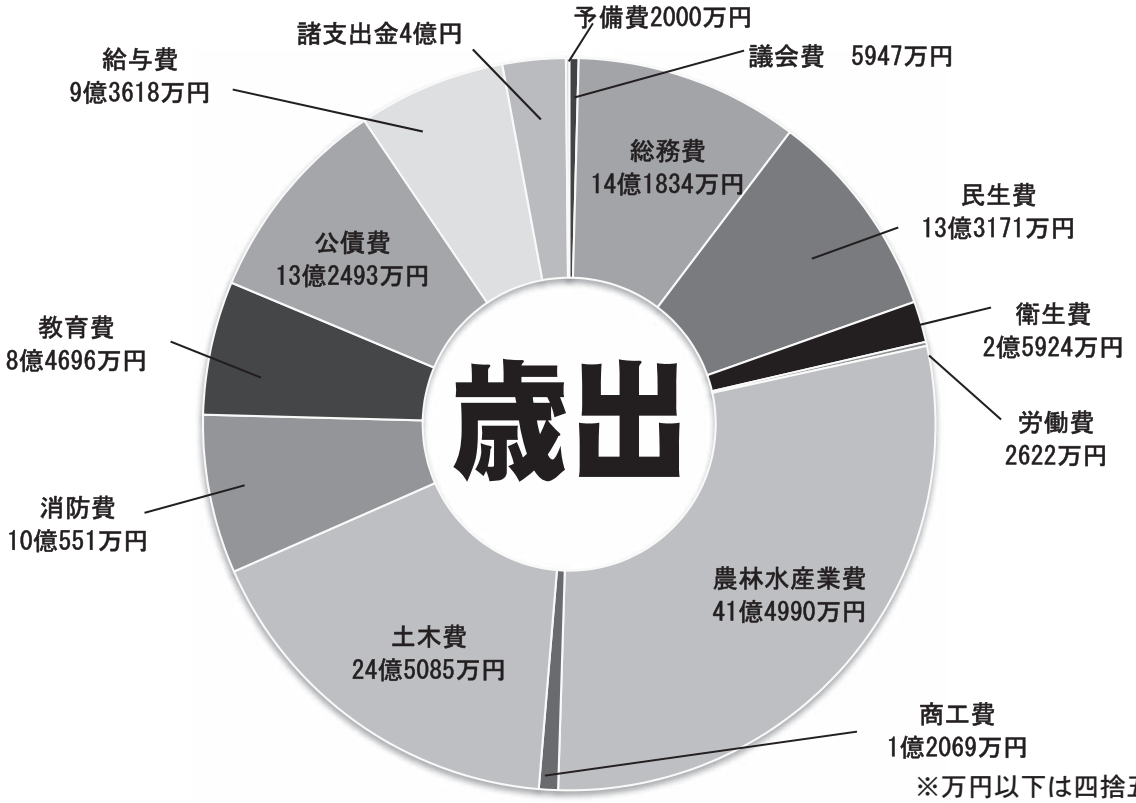
交付金	利子割交付金	50 万円
	配当割交付金	100 万円
	株式等譲渡所得割交付金	100 万円
	法人事業税交付金	1259 万円
	地方消費税交付金	1 億 1600 万円
	環境性能割交付金	500 万円
	地方特例交付金	300 万円
	交通安全対策特別交付金	50 万円
	合　　計	1 億 3959 万円

（予算内容）

今年度の予算額は、一般会計・特別会計、公営企業会計総額で 172 億 360 万円と、前年度当初予算より約 33 億 9760 万円増（24.6％）の予算が計上されました。一般会計は、総務費・民生費・衛生費・農林水産業費・消防費・給与費の増により、前年度比 29.9％増の 143 億 5000 万円となりました。また、特別会計は、後期高齢者医療・介護保険事業の増により前年度比 3.0％増の 13 億 8820 万円、公営企業会計は、前年度比 4.1％増の 14 億 6540 万円となりました。

各会計総予算 172 億 360 万円

一般会計総額 143 億 5000 万円（前年度比 29.9％増）



※万円以下は四捨五入

特別会計総額 13 億 8820 万円（前年度比 3.0％）

会　計　名		予　算　額	対前年度比（%）
国民健康保険事業		6 億 1930 万円	△ 0.2
後期高齢者医療		1 億 1010 万円	8.2
介護保険事業	保険事業	6 億　420 万円	3.5
	介護サービス	5460 万円	30.6

公営企業会計総額 14 億 6540 万円（前年度比 4.1％）

会　計　名		予　算　額	対前年度比（%）
簡易水道事業	収益的支出	4 億 8754 万円	0.6
	資本的支出	4 億 8146 万円	△ 12.0
下水道事業	収益的支出	2 億 5834 万円	8.9
	資本的支出	2 億 3806 万円	71.5

基本目標・施策に基づく主な予算

「人が輝くあつま」	子ども・子育て支援・学校教育・社会教育の充実 生涯スポーツの振興、まちづくり人材の育成	14 億 5601 万円
「健やかで安心なあつま」	高齢者福祉・介護・社会福祉・障がい者福祉・保健・医療の充実	10 億 4584 万円
「みのり豊かなあつま」	農業・林業・水産業・商工業の振興、観光・交流のまちづくりの推進	40 億 7709 万円
「快適に暮らせるあつま」	都市基盤の充実、環境保全の推進、快適な住環境の確保と定住化促進・消防・防災の強化、防犯・交通安全対策の強化	42 億 6750 万円
「みんなで支えるあつま」	住民自治の推進、健全な行政運営の推進	17 億 5268 万円
「災害復旧・復興」	災害関連	2008 万円

令和７年度主要な新規事業予算（抜粋）

公共施設等総合管理計画策定事業

事業予算額　620万円

総務課総務人事Ｇ

必要な公共サービスを持続的に提供し続けられるように公共施設等の老朽化の現状や施設整備における課題などを明確にし、中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減・予算の平準化により、町政運営の健全化を図るため「厚真町公共施設等総合管理計画（計画期間：平成28年４月から令和８年３月）」の次期計画を策定する。

事業概要

公共施設総合管理計画および個別計画の策定

１　計画期間：10年間（令和８年度～令和17年度）

２　対象施設：各小中学校やスポーツ・レクリエーション施設、自治会会館、子育て関連施設、産業施設（温浴施設等）、他

財源内訳

一般財源　620万円

妊婦のための支援給付事業

事業予算額　250万円

住民課子育て支援Ｇ

従来の「出産・子育て応援給付」に代わり、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律において新設された妊婦のための支援給付を、妊婦等包括相談支援事業と効果的に組み合わせて実施することにより、妊婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援を実施する。

事業概要

１　妊婦のための支援給付金

・対象者　１回目：妊婦（30人）
　２回目：妊婦（20人）（旧　養育者）

・金額　１回目：５万円
　２回目：５万円×胎児の数（旧　出生した数）

・支給時期　１回目：妊婦支給認定後（旧　妊娠届出後）
　２回目：胎児の数の届出後（旧　出産後）

・流産・死産・人工妊娠中絶：給付対象

・妊娠の定義：医師による胎児心拍の確認

２　財源（補助率）

・妊婦のための支援給付（旧出産・子育て応援事業）
　国10／10

財源内訳

国　250万円

厚真葬苑整備事業

事業予算額　2250万円

住民課町民生活Ｇ

町民が安全で安心な施設で快適な利用が図れるための施設改修を実施する。

事業概要

１　厚真葬苑火葬炉施設改修（再燃焼炉耐火物交換【１炉分】）

２　厚真葬苑屋上防水改修（雨漏り改善）

財源内訳

その他（公共施設維持補修基金繰入金）　2200万円

一般財源　50万円

生ごみ堆肥化容器等購入費助成事業

事業予算額　26万円

住民課町民生活Ｇ

家庭から排出される生ごみのリサイクルと減量化を推進するため、生ごみ堆肥化容器または生ごみ電動処理機を購入する者に対し助成金を交付する。

事業概要

１　助成金交付対象者

（１）厚真町内に住所を有し、かつ居住している者（事業所は除く。）

（２）町税等に滞納がないこと

２　助成額および数量

（１）堆肥化容器：購入額の１／２（上限　3,000円）

（２）電動処理機：購入額の１／２（上限 20,000円）

（３）対象となる数量：１世帯につき堆肥化容器または電動処理機のいずれか１台

３　助成対象見込世帯数

（１）堆肥化容器：20世帯

（２）電動処理機：10世帯

財源内訳

一般財源　26万円

厚和地区道営ほ場整備事業

事業予算額　30万円

産業経済課農業農村整備Ｇ

令和９年度厚和地区道営ほ場整備事業採択に向けた調査・計画の樹立及び促進期成会活動事業の支援。

１　受益面積（予定）　35.0ha

２　受益戸数（予定）　５戸

３　総事業費（予定）　12億円

次ページにつづく

前ページつづき

事業概要

1　事業内容

令和９年度事業採択（予定）に向けた計画樹立（調査・換地計画等）実施に伴う負担金および促進期成会の活動補助金

2　内容

（1）促進期成会活動補助金

（2）農用地等集団化計画作成に伴う負担金

財源内訳

一般財源　30万円

防災重点農業用ため池整備事業

事業予算額　440万円

産業経済課農業農村整備Ｇ

防災上改修が必要と判断された農業用ため池について決壊による災害から住民の生命財産を保護し農業の持続的発展を図る。

事業概要

1　耐震対策工事　（令和７年度は実施設計）

2　総事業費　4000 万円

3　助成基準（負担率）

（1）国　55％

（2）道　34％

（3）町　11％

道営農村地域防災減災事業計画

防災重点農業用ため池緊急整備事業（軽舞第２貯水池）

1　事業期間　令和７年度～令和12年度

2　防災受益面積　71.8ha

3　総事業費　５億7000万円

財源内訳

地方債　390万円

一般財源　50万円

浜１号線道路整備事業

事業予算額　365万円

建設課土木Ｇ

津波防災事業に伴う、避難道路の概略設計業務（道路拡幅・防雪柵整備）

施工延長　Ｌ＝1.1km

財源内訳

その他財源（復旧・復興基金繰入金）300万円

一般財源　65万円

浜３号線道路整備事業

事業予算額　800万円

建設課土木Ｇ

津波防災事業に伴う、避難道路の概略設計業務（道路拡幅整備）

施工延長　Ｌ＝2.0ｋｍ

財源内訳

その他財源（復旧・復興基金繰入金）800万円

新町線道路整備事業

事業予算額　800万円

建設課土木Ｇ

新町線道路整備事業に伴う測量設計業務

延長　Ｌ＝360m

財源内訳

一般財源　800万円

共和地区排水整備事業

事業予算額　902万円

建設課土木Ｇ

共和地区の排水整備を行うことで豪雨時の排水を速やかに行うことを目的とする。

事業概要

1　排水整備事業用地の取得費、用地確定測量費

2　排水状況調査委託費

財源内訳

一般財源　902万円

中間管理住宅整備事業

事業予算額　1572万円

建設課都市施設Ｇ

町内にある空き家を町が一定期間借上げ、町でリフォームした後、希望者に賃貸する。借受け期間満了後は所有者に返還する。

事業概要

1　制度内容

（1）公募空き家棟数　１棟

（2）町と空き家所有者との 12 年間の賃貸契約

（3）賃貸契約期間中、所有者に対する賃貸料１万円

（4）家賃は月額７万円程度

2　事業内訳

（1）実施設計　233万円

（2）工事監理　99万円

（3）改修工事　1172万円

（4）旅費　56万円

（5）借上料　12万円

次ページにつづく

前ページつづき

3　期待される効果
（1）移住希望者等の確保
（2）地域の景観向上
（3）空き家の資産価値向上による流動化促進
（4）入居希望者の充実した生活の確保

財源内訳

国	750万円
地方債	560万円
一般財源	262万円

表町防災空地整備事業

事業予算額　2250万円

建設課土木G

表町防災空地の整備事業
整備面積約 20,000㎡

事業概要

防災空地 20,000㎡ の基本設計および実施設計委託業務

財源内訳

その他（復旧・復興基金繰入金）	2000万円
一般財源	250万円

文化財等活用支援振興事業

事業予算額　520万円

生涯学習課社会教育G

厚真町の文化財を活用・促進するために文化財等活用支援として地域おこし協力隊に業務を委嘱し、生涯学習環境の整備や関係人口の創出を図る。

事業概要

厚真町地域おこし協力隊・文化財等活用促進支援員１名を委嘱する。

1　町文化財担当職員がこれまで担ってきた、埋蔵文化財を含む文化財全般の協議　調査、保管、普及活用等の方法や技術を取得、基礎情報の蓄積を行う。

2　厚真町の文化財等における基礎情報や普及活用方法を取得しながら、町民向け事業展開を町文化財担当職員と連携、もしくは独自に運営するなど、文化財を中心とした地域貢献を行うことを目的とする。

財源内訳

一般財源	520万円

総合型地域スポーツクラブ創設事業

事業予算額　115万円

生涯学習課社会教育G

誰もが気軽にスポーツに親しみ、多様なスポーツ活動による地域の交流や健やかな暮らしを実現できる、自分に合った運動やスポーツが楽しめる環境を提供するために総合型地域スポーツクラブは、将来的に文化部を含めた中学生の部活動の機能を担うことを想定し、令和９年度までに部活動地域展開の実現を目標とする。

事業概要

1　総合的に地域スポーツ振興を担う民間団体を令和８年度中に設立することを目標として、令和７年度は設立準備委員会として創設へ向けた実質的な準備を行う

2　令和７年度活動計画

（1）事務局体制
ア　地域おこし協力隊・スポーツ振興支援員　１名
イ　総合型地域クラブコーディネーター（会計年度任用職員）　１名
ウ　総合型地域クラブ創設アドバイザー　１名
エ　社会教育グループ職員

（2）　事業内容
ア　設立準備委員会（年間10回）、設立総会（２月）
イ　スポーツ体験会（年間７回）、スポーツ交流大会（12月）
ウ　広報活動、先進地視察（通年）
エ　関係機関との連絡調整、町スポーツ行事運営補助

3　令和８年度以降の計画
令和８年４月～総合型地域スポーツクラブとしての運用開始
令和９年４月～部活動地域展開開始（既存の部活動は総合型クラブの活動へ）

財源内訳

その他（スポーツ振興くじ助成金ほか）	107万円
一般財源	８万円

厚真中学校陸上グラウンド整備事業

事業予算額　480万円

生涯学習課社会教育G

日本陸連４種ライト公認競技場として維持管理している厚真中学校陸上グラウンドについて、新たに改修工事を行い競技場としての機能を向上させる。

事業概要

改修工事の内容　砲丸投ピット増設

財源内訳

一般財源	480万円

委員会レポート

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会（伊藤富志夫委員長）は、令和７年１月29日に事務調査２件を行い、その結果を令和７年第１回定例会に報告しました。

【事務調査】

厚真町津波防災地域づくり推進計画の改訂について

・目的と経緯

令和４年９月国により「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災推進地域」及び「津波避難対策特別強化地域」に指定され、令和５年より①「厚真町津波防災地域づくり推進計画」、②「厚真町津波避難対策緊急事業計画」等を策定し、令和６年度は①の取り組みを進めている。

・厚真町津波防災地域づくり推進計画の概要

計画を３期に分け（１期　浜厚真地区、２期　鹿沼・浜厚真北地区、３期　厚真川右岸地区）着手する。

・推進協議会

大学教授、関係自治会長、関係企業代表者、国・道担当者

会は、４回開催。課題と現状、今後の進め方を話し合う。

・今後さらに検討が必要な事項

①耐震診断、家屋耐震化
②津波避難施設の平時の活用
③避難時の妨げになる課題解消
④避難場所の拡充、冬季備蓄の対策
⑤自動車避難時の留意点
⑥復興体制、被災者の生活再建支援体制の検討
⑦津波浸水想定区域内からの移転支援等

全国学力・学習状況調査の概要、調査結果について

小学６年生と中学３年生全員を対象に、学力と学習状況の調査を２００７年から実施している。

・学力調査の結果

厚真町、全道、全国の平均正答率の推移を下記の表に示す。

・分析／活用

本町は小・中２校ずつあり、調査結果が競争をあおる結果につながることなく「一定以上の教育水準を確保する」ことを大事にする。

過去７年間の厚真町、全道、全国の正答率の平均を出したところ、すべての校種、教科で、全道、全国よりも同等か上回っている。一方R3、R6の同一集団の成績は、国語、算数・数学で全道、全国よりも下回る。

このように、調査の趣旨を踏まえ、教育委員会も各学校も、児童生徒の日ごろの実態を把握し、指導助言を行っていく。

問　数学の解く力が弱っていると感じるが、年々平均点が低くなっていることに対しての分析と対策、話し合いはされているのか。

答　問題に取り組むのが難しかった生徒が少し多かったと分析をしている。日頃から自分の考えや根拠を明確にし、論理的に説明するなど、思考のアウトプットを意識した学習を進める。

学力調査の結果

義務教育の機会均等と水準の維持がなされているかを把握する目的で、厚真町、全道、全国との平均正答率の推移を比較する。

（1）小学生

受検対象人数

（人）	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町	47	30	31	45	30	37	37

・国語（分析：全道、全国とほぼ同等）

	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町	60	68	62	67	69	63	64.8
北海道（公立）	53	63	63	64	66	67	62.7
全国（公立）	54.7	63.8	64.7	65.6	67.2	67.7	64.0

・算数（分析：年によって変動もあるが、平均は、全道、全国とほぼ同等）

	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町	68	71	64	66	61	60	65.0
北海道（公立）	62	64	67	61	61	61	62.7
全国（公立）	63.5	66.6	70.2	63.2	62.5	63.4	64.9

・理科（分析：全道、全国よりも上回っている（３年毎、**H30** と **R４** に実施）

	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町	69			67			68.0
北海道（公立）	59			63			61.0
全国（公立）	60.3			63.3			61.8

※令和２年は、コロナ禍のため、実施されていない。

（2）中学生

受検対象人数

（人）	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町	34	27	47	27	41	30	34

・国語（分析：年によって変動もあるが、全道、全国よりも上回っている）

	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町	84	81	70	71	75	51	72.0
北海道（公立）	77	72	65	69	69	58	68.3
全国（公立）	76.1	72.8	64.6	69	69.8	58.1	68.4

・数学（分析：年によって変動もあるが、全道、全国よりも上回っている）

	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町	75	65	61	53	56	45	59.2
北海道（公立）	65	58	56	49	49	51	54.7
全国（公立）	66.1	59.8	57.2	51.4	51	52.5	56.3

・英語（分析：全道、全国よりも上回っている（３年毎、**H31** と **R5** に実施））

	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町		59			46		52.5
北海道（公立）		54			44		49.0
全国（公立）		56			45.6		50.8

・理科（分析：全道、全国よりも上回っている（３年毎、**H30** と **R４** に実施））

	H30	H31	R3	R4	R5	R6	平均
厚真町	78			53			65.5
北海道（公立）	67			49			58.0
全国（公立）	66.1			49.3			57.7

※令和２年は、コロナ禍のため、実施されていない。

委員会レポート

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会（橋本豊委員長）は、令和７年１月27日に事務調査２件を行い、その結果を令和７年第１回定例会に報告しました。

【事務調査】

厚真町公園施設長寿命化計画について

・計画策定の目的

公園のストックマネジメント（※1）にあたっては、施設の機能ごとに目標とすべき管理水準を設定し、施設の機能保全とライフサイクルコスト（※2）の縮減を目指す。

・計画期間

令和6年度から令和15年度までの10年間。

問　判定結果Dランク2施設とは具体的にどの施設なのか。

答　かしわ公園の石造りの柵とかしわ公園野球場の一塁側ゲート。

問　計画対象施設が539施設とあるが、これだけの施設が必要なのか。

答　整備するにあたって必要だということを町民の皆さんと分かち合い整備をしている。

問　地域の公園が本当に必要かどうかを住民と話し合い、将来的には廃止や縮小の検討を行うのか。

答　内部でしっかり議論しながら、適切な公園管理数と維持管理のコスト部分も含めて、適切に管理していくよう議論していく。

※1　ストックマネジメント
機能診断、劣化予測を経て、適切な対策工法のシナリオを策定し、計画的かつ効率的に管理する方法

※2　ライフサイクルコスト
施設の整備から維持管理、修繕、解体処分までの全期間に要する費用

ゼロカーボン関連事業の経過と進捗について

1　ゼロカーボン推進事業の目的

厚真町は令和4年4月6日に「ゼロカーボンシティあつま」を宣言し、吸収源となる自然環境の保全や生活・産業の省エネルギー化、災害対策の強化など持続可能な地域づくりの実現と気候変動への対策を目的に取組を進めている。

2　ゼロカーボン推進事業の経緯

・基礎調査と基本計画

令和4年度に町内の年間温室効果ガス排出量、再生可能エネルギーの賦存量及び導入ポテンシャル等の基礎調査と脱炭素化を実現するにあたってのコンセプトやポイントを定めた脱炭素シナリオを「厚真町地域再エネ導入戦略」としてまとめ、これを基に脱炭素化に向けた取組みを検討し、定めたものを「厚真町ゼロカーボン・ビレッジ構築計画」としてまとめている。

・関連事業の進捗状況

現在進められている事業

①エネルギーの地産地消事業
②ゼロカーボン・モビリティ導入事業
③住まいのゼロカーボン化推進事業
④上厚真ゼロカーボン・ビレッジ整備計画

問　7つのビレッジデザインのひとつに「見通しの良いセキュアなまちをデザイン」とあるが、都市計画の中で上厚真中心部の変形五差路の解消が盛り込まれていたと思うが、具体的に同時に進めていくのか。

答　上厚真市街地の中心五差路の修正については、上厚真北部地区に新たに予定をしている。分譲地から道道まで大事な路線になるので、整備を併せて道路網の見直しと一緒に行う予定。

問　上厚真地区の東エリアでリバーサイドゾーンに現状宅地や住宅があると思うが、計画の見通しは。

答　リバーサイドの活用については景観の活用ということで、直接河川敷を歩くなどというところは、道路網と併せてデザインを検討していく。

問　他の町では川の水がきれいという空間を利用して公園や観水空間をつくっているが、厚真川は濁りがあるがリバーサイドの部分はどうなのか。

答　廃水処理の軽減負荷という中で、まずは水というよりは上厚真独特の景観を活用していこうというところから進めようとしている。

問　生活排水の関係で、下水道事業を展開する予定なのか。

答　下水道事業は展開する予定はない。廃水負担が大きいので、中間で一定の調整池やそういったもので一回溜める機能というものを検討している。

問　洪水対策がどこまで出来るのか。

答　厚真町の防災計画上は浸水区域に入っている。上厚真全体の排水計画という中で、電動のもの、機械的なものを入れるのか。自然的なもので処理できるか検討を重ねていく。

委員会レポート

新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会

新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会（吉岡茂樹委員長）は、令和６年12月13日、25日、令和７年２月25日に事務調査３件を行い、その結果を令和７年第１回定例会に報告しました。

【事務調査】

◆12月13日、25日

庁舎周辺等整備基本構想・基本計画等について

・調査内容

１　基本計画の変更

令和６年４月に示された、基本設計を物価高騰などの影響で、総事業費が増加するなどで費用の削減を目指し、建物を３階建てから２階建てとし、木造（一部鉄骨造り）を鉄骨造りに変更。完成時期も昨年８月に示した令和９年６月頃から、令和９年度末との概要説明が行われた。

◎スケジュールの見直し

当初（令和６年４月）提案スケジュールが、設計内容精査期間を必要としたために、全体スケジュールが見直しとなった。

〈役場庁舎〉

当初予定の令和９年６月から、令和９年度末頃に変更となり、面積は約２９５２㎡から２８００㎡と、約１５２㎡の減少。

〈文化交流施設〉

当初予定の令和９年８月から役場庁舎と同時期に変更となり、面積は当初約２９６９㎡から２８００㎡と、約１６９㎡の減少。

〈広場・公園・道路・駐車場〉

最終完成引き渡しが、当初予定の令和16年12月から、令和12年12月頃に変更。

◎概算事業費と財源内訳の変更

当初（令和５年３月）の基本構想・基本計画では、事業費総額、約44億５７００万円、令和６年基本設計時では、事業費総額、約75億２４００万円、（広場・公園・道路・駐車場整備費を含む）と、30億６７００万円の増額となる事から、設計内容精査を行い、役場庁舎と文化交流施設と合わせた事業費が、57億５７００万円となり、令和６年４月の事業費よりも６億３２００万円の削減。

◎主な意見

【12月13日】

・庁舎も町民にとって、重要な空間の場だと思っている。お金を絞ることは良いが絞るにあたって大事にすること、守っていくこと等、きちんと議論し合わないといけない。

【12月25日】

・短期間で、新庁舎と文化交流施設２つのことを協議していくことに関して、期間は十分なのか。

庁舎周辺等整備事業について

◆２月25日

・調査内容

１　文化交流施設等運営検討委員会の開催状況

（1）委員構成

・庁舎周辺等整備アドバイザー、各分野における専門家など20名で構成

（2）開催状況

・第１回令和７年１月22日、第２回２月４日、第３回２月18日、計３回

（3）今後の開催予定

・第４回令和７年３月３日、第５回３月17日、第６回３月26日、計３回予定

２　現庁舎の保存活用および解体に要する経費の試算および今後の方針について

（1）保存活用する場合

ア．計画条件

①１階、アンテナショップ、２階、学生等を対象とした学習スペース

②多機能トイレの設置

③エレベーターの設置

イ．改修費用（概算）

５億８２８０万円（税込）

（内訳）耐震補強、改修工事、設備工事等

ウ．維持管理費用（概算）

１８３０万円（税込）

（内訳）光熱水費、点検・保守、清掃、修繕・更新工事等

※20年間使用した場合

３億６６００万円（税込）

（2）解体する場合

解体費用（概算）

１億２５８０万円（税込）

（3）今後の方針

町民等による活用方法の募集を行なう。

・提案あり～提案内容の審査（現庁舎の活用方法として適当か、補助事業の対象となるか、改修費用、等を総合的に判断）

・提案なし～解体

◎主な質疑・意見

・今後の方針で、町民等による活用方法の募集を行うとのことだが、もし来た場合、維持費や改修など今後掛かってくる費用はどのような負担になるのか。

・現庁舎の今後の方針で、町民等による活用方法の募集だけになっているが、おそらく現庁舎に対する意見というのは多数あると思う。保存活用方法の意見募集だけではなく、この現庁舎に対する町民の意識をきちんと受け止めることが大事ではないか。

委員会レポート

風力発電施設に関する調査特別委員会

風力発電施設に関する調査特別委員会（吉岡茂樹委員長）は、令和６年12月25日に付託事件審査、12月27日、令和７年１月10日に事務調査２件を行い、その結果を令和７年第１回定例会に報告しました。

【付託事件審査】

（仮称）苫東厚真風力発電事業計画の地域住民との合意なき事業推進に反対する請願書

◆審査の経過

請願者「苫東厚真風力発電を考える会」世話人共同代表２名を参考人として出席を求め、請願の趣旨および具体的内容等について聴取した。

その結果、本委員会としては趣旨採択すべきものと決定した。

◆付帯意見

・地域住民の多様な意見があり、建設反対意見の中にも、東エリア地区の５基のみの計画変更を求める声や、希少種の保護・保全を求める意見など、地域住民の意見の合意形成が必要である。

・今後の対応としては、町として条例又はガイドライン化の整備を早急に進める必要がある。

【事務調査】

風力発電施設に関することについて

◆12月27日

1．（仮称）苫東厚真風力発電事業環境影響評価準備書についての意見

・騒音、低周波音による健康被害、睡眠障害、精神的苦痛などの心配

・国内外で風車による騒音、低周波音による健康被害等が報告されている。

・騒音や低周波音の感じ方には個人差があり、基準内であっても影響を受ける人がいる。

・工事の騒音、振動による鳥類への影響（繁殖・営巣の阻害）が心配だ。

・湿地への影響（現象・乾燥化）が心配だ。

・鳥類への甚大な影響が心配だ。

・工事や土地の改変による植物への影響が心配だ。

・鳥類、生態系に関する調査が不十分であり、不適切な環境影響評価である。

・準備書に関する説明会の進め方が悪い。

・事業の周知や説明が不十分だ。

・事業に反対。中止を求める。

・農業（酪農・養鶏）、飲食業への影響（騒音・低周波音・影・景観悪化・ブランドイメージの棄損・アニマルウェルフェアに対応した飼養の妨げ）が心配だ。

・生活環境が悪化する。

・準備書の縦覧を継続（常時閲覧可能に）してほしい。

◎主な質疑・意見

【12月27日開催】

・住民の方たちは、健康被害や環境破壊の問題を心配されている。さらに周辺で事業展開されている方が、大型風車が建設されることによって、どのような影響があるのかを心配されている。浜厚真の湿地や渡り鳥の問題等、いろいろな思いが詰まっている。ぜひ、それらの思いをしっかり受け止めて、意見書を道へ提出していただきたい。

・地域合意が大事なので、その役割を行政に作り出して頂きたい。

・ガイドラインを作成するなど、規制整備をしっかりしていただきたい。

・東側の５基に対する懸念がある。仮にそこに建設したら事業者の方が、町は何も意見を聞いてくれなかった、助けてくれなかったという気持ちになり発信してしまうことは防がなければならない大きなことだと思っている。

・鳥類に対する保護をするという観点もぜひ持っていただきたい。

◆1月10日

1．知事から照会があった環境影響評価準備書に対する町長意見（未定稿）

①騒音（低周波音含む）超低周波音による健康被害について

・対象事業実施地区の周辺には住宅が存在しており、風力発電施設の騒音や超低周波音による健康被害の発生が懸念される。

騒音及び超低周波音の感じ方や心身への影響については、先進地の事例や専門家から個人差が大きいと指摘されており、予防原則の観点で風車の配置については最寄りの住宅から２㎞程度の距離を確保すること。

②生態系、産業への影響について

・対象事業実施区域のうち、厚真川左岸にある東側エリアについては、生物多様性保全への影響が懸念され、畜産業や漁業への影響も払拭できないため、当該エリアへの風車の配置は撤回すること。

◎主な質疑・意見

・「２㎞程度の距離を確保すること。」とあるが２㎞の根拠は。

・東エリアに限っての撤回の意見だが、東エリアに限って意見を言われている理由は。

折坂（おりさか）　泰宏（やすひろ）　議員

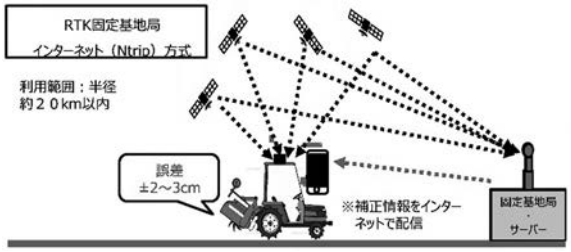
電波僻地

RTK 電波僻地の解消はどうか

答　不感地帯がどの程度か調査する

問　厚真町ではかねてより、ＩＣＴ技術の導入に補助金を用意し、普及の一助として活用されているが、ＲＴＫいわゆる自動操舵システムにおいては携帯電話の電波を用いた運用がされている。しかしながら、電波の届かない圃場についてはＲＴＫシステムの活用が不可能な状態にある。電波事業者との協議によって電波僻地の解消に向けた取り組みを国も推奨していることから、厚真町として今後の方向性をお伺いする。

町長　町としても平成28年度からスマート農業の推進の為、環境整備をし、ＲＴＫシステムの精度を高めてきている状況ではあるが、携帯電話のネット環境が十分でなければその性能も発揮できないという状況にある。厚真町においては沢地帯、山間地帯で不感地帯が点在する状況から、国と様々べく協議が進んでおり、２年間の実証実験をしていく。令和７年中には不感地帯の調査をすることが先だと考えている。



出典：スマート農業推進フォーラム 2021 in 北陸」（北陸農政局）講演資料
(https://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/smart/attach/pdf/forum-10.pdf) を加工して作成

家族教育

ラーケーション制度導入は

答　道教委につなげていきたい

問　ラーケーション制度という、平日に子供が保護者や家族と一緒に校外学習を行うことを目的とした休みを取得できる制度で、ラーケーションの日として申請した日は学校に登校しなくても欠席にならず、２０２３年より愛知県で導入されてから全国の自治体でも取り入れる動きが出てきている。職種多様化の時代に合わせた取り組みが子供たちの能力・可能性を開花させる教育として大変意義深いものと考えるが、町教委の導入はどうか。

教育長　ラーケーション制度の仕組みについて、この度の質問を機に調べさせていただいた。この趣旨については私も非常に賛同するところである。

　厚真町は総合学習的な授業の中で、地域にまた身の回りに目を向けながら多くを感じ、そこから新たなものを見出していく授業を展開している。

　この制度を今後、保護者また学校の皆さん等に情報提供しながら進めていきたい。そして北海道教育委員会に繋がる情報提供をしていきたい。

一般質問

ここが聞きたい

はしもと　ゆたか
橋本　豊　議員

学校給食について

地元食材利用の現状は

答 厚真産の食材を増やしていきたい

問　給食センターはオール電化で衛生的な近代的設備を整えているが、7月から11月の間、月1回ずつ牛乳と調味料以外は全て厚真町産食材を使用する「あつまの日」を実施していると思うが、子供たちに地元産の食材をもっと食べさせてほしい。食べることで地元の豊かさを伝えていきたいと考えている。そこで以下の内容について伺う。①地元食材利用の現状は②残食率、食材が高騰している今日だが、どのように対応しているのか。

教育長　地元食材の利用率を上げる取組として、生産者への直接の納入の働きかけであったり、とまこまい広域農協産のもぎたて市を活用しながら、できる限り厚真産の食材を増やしていきたいと考えている。

　食材についても当然、物価高騰の影響が出ている。食材として調理した際にしっかり安心、安全な食材が目の前に広がっているということを再確認しながら、中間的な流通をかけずに納入、導入することが可能であれば道を探りながら地元産を増やしていきたい。

小学校の給食時間

自主防災組織

自主防災組織の設立や活動について

答 一定の枠組が必要

問　町内において自主防災組織を設立している自治会もあるが、次のことについて伺う。

　本来は「自分の地域は自分たちで守る」という意識の中で組織を結成するものであるが、高齢化や人口減少で役員のなり手がいないなどもあり、複数の自治会で合同の組織を立ち上げることは可能なのか。

　設立自治会で独自に防災訓練及び避難訓練の実施現状は。

町長　10自治会が自主防災組織を組織している。自治会によっては様々な複数の要因もあるようだが、自主防災組織の必要性については皆さん認識をしていただいているところ。

　防災訓練は、消火訓練、連絡訓練、救命訓練、机上訓練、町も大々的に防災訓練をやる際に、このHUGを中心に実際に訓練をしている。単なる災害時の要避難者の援護だけでなく、様々のことを訓練し、自主防災組織としての位置づけ、一定の枠組が必要だ。

伊藤（いとう）　富志夫（ふじお）　議員

介護保険制度

今後の介護保険運営の展望は

答　官民拘らず使命感を持って提供を

問　介護保険制度がスタートして25年を迎えるが、保険料は右肩上がり、介護報酬は見直しが続く。

そんな中、今年度から訪問介護の基本報酬が引き下げられた。全国的には、訪問介護事業所がなくなる事例が続く。厚真町も今後の取り組み次第では心配だ。報酬削減の影響を考え補填の考えはあるか。また、介護保険料はスタート時から現在まで上がり続けている。保険料の軽減措置、軽減の対策を伺う。最後に、今後の厚真町の介護運営の見通し・展望を聞く。

町長　町は2つの事業者が訪問介護を実施、事業所が立ちいかなくならないようサポートはする。赤字については事業者の自己判断で相談にのる。

保険料は３６００円からスタートし今５６００円、介護認定率もスタート時７％台、現在22％台。保険料も上がる。基準保険料は全国６２２５円、全道５７３８円で、厚真町は低い。地域福祉は、行政か民間かに拘らず、サービス受給者にしっかり使命感を持って提供を続けられるか、町も伴走していかなければならない。

苫東厚真風力発電事業

条例またはガイドライン化の整備は

答　年内を目標に条例化

問　昨年第３回定例会で同じ質問をしたが、時期尚早と指摘され止めたが、今回は、１月臨時会の特別委員会報告付帯意見で、「今後の対応として条例またはガイドライン化の整備を早急に進める必要がある」と出された。また、町から道への準備書への意見書で、騒音、低周波音による健康被害、「住宅から2キロメートル程度の距離」、生態系産業への影響など、事業推進にあたり運用基準の条例制定が求められる。その考えは。

町長　規制側に立つか促進側に立つか条例の作り方、あるいは規制区域、促進区域いわゆる制限区域を地図上に明らかにしていくやり方、手法はいろいろある。いずれにしても、明確に土地利用上許せる範囲、事業展開できる範疇を制約していきたい。再生可能エネルギーの発電施設も様々あるので、一つの条例でまとめた方がよい。年内を目標に条例化作成をさせていただきたい。当然、専門家の皆さんにしっかりと意見を伺うことは大事。

一般質問

ここが聞きたい

子育て支援

町民の声をどう反映させていくのか

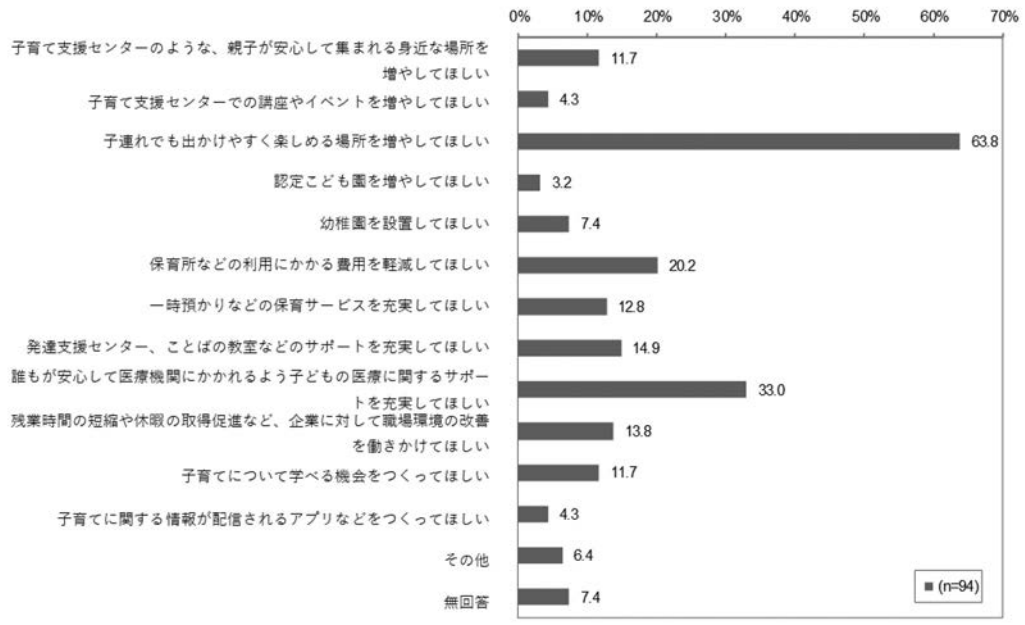
答 検証と満足度を評価していく

寺坂（てらさか）　康生（やすお）　議員

問　第３期厚真町子ども・子育て支援事業計画（案）が町民に示され、その中に様々なアンケート結果も掲載されていた。このアンケート結果は町民の皆様の要望や感じていることのストレートな声だと感じている。その中に「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい。」「子育てや教育にお金がかかる。」というような回答が多かった。さらなる支援が必要と考えるが、この町民の声を今後どのように反映させていくのか。

町長　今考えているのはこれから進められていく文化交流施設の中に、保護者が子どもと一緒に集ってある程度の時間を楽しむ機能を考えている。

　また、新庁舎周辺の真ん中の広場を中心に子どもたちと一緒に楽しめる時間を増やせるよう議論を進めたい。また乳幼児のいる家庭には医療費、子育て機関の助成、高等教育向けの育英資金制度など今ある制度の満足度を十分に検証し評価して、工夫をする余地はあると考えている。



第３期厚真町子ども・子育て支援事業計画アンケート結果

澤口（さわぐち）　千里（ちさと）　議員

教育行政

外部人材の活用で教員負担軽減を

答　特別免許状制度も検討する

問　国は社会に開かれた教育課程の実現に向けて、高い専門性を持つ外部人材の活用を促進している。特に体育や情報、技術家庭科などでは、オリンピアンやアスリートなど専門家によるカリキュラム策定から授業実施までを一括委託することで、教員負担の軽減が可能と考えるが、特別免許状制度を活用した外部委託の拡大についての見解は。

　また、本町の魅力ある英語教育の一環であるイングリッシュキャンプの積極的勧奨方策は。

教育長　ふるさと教育を中心に地域人材を活用した授業実施は一定の成果を上げているが、現状外部人材は補助的役割であり、授業設計や評価は担っていない。学校経営は学校長に委ねられ、外部人材の権限拡大は慎重に対応する。ただし、特別免許状制度について、教員負担軽減に繋がる可能性も含め、研究していく。

　イングリッシュキャンプは今年度より小学校高学年以上対象のプレも実施し、参加ハードルを低く感じられるよう取組む。

ジェンダー平等

男女問わず働きやすい環境作りを

答　長期的な視点で問題解決する

問　男女共同参画の目的は、多様な人材を活用し最高のパフォーマンスを発揮する組織作りだ。だが、近年男女問わず管理職意向の低さやハラスメント防止対策の難渋が問題視されており、働きやすい環境作りが急務だが、町長の見解如何。

　男女別で分ける名簿管理が、性別に基づく偏見を助長する可能性があるとして、男女混合名簿導入が注目されるが、本町での対応は。また「二十歳の集い」での氏名読み上げを男女混合名簿にて検討しては。

町長　男女を問わずほとんどの人が働いている状況で、勤勉であるがゆえ、仕事と家庭、社会活動の両立が困難になる傾向があり、長期的な視点で問題を解決する事が重要だ。

教育長　小中学校では基本的に男女混合名簿が主流で、本年度からは全ての学校で導入予定。二十歳の集いは、実行委員会と協議し、ジェンダー平等の理念を反映させた読み上げ方法を検討。それらの価値観が子ども達にとって当たり前のものとして根付くことを目指す。

降園後子守りをする祖父

一般質問

ここが聞きたい

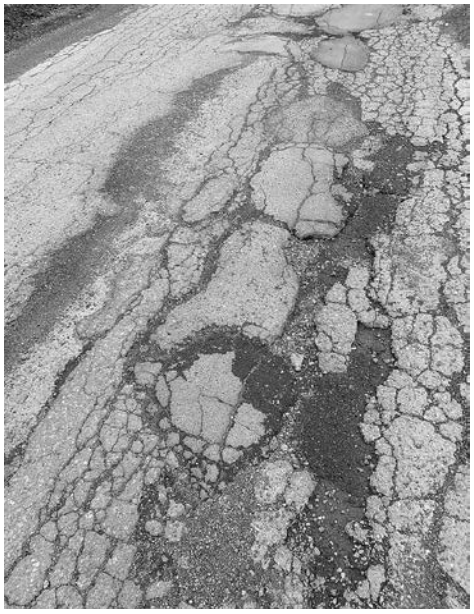
菅原（すがわら）　文子（あやこ）　議員

道路の維持管理

国の事業を検討してはいかがか

答　積極的に活用していきたい

問　道路舗装のひび割れや亀裂が路盤にまで及んでいる箇所が数多く見受けられる。これは積雪寒冷地特有の凍上災害によるものと考える。本町では除雪車や大型車両も冬期間通行するため危険が生じている。令和7年度成立予定の国家予算の緊急自然災害防止対策事業が拡充の見込であり、積雪寒冷地特別地域の道路における凍上災害の予防・拡大防止対策について、基層及び路盤を含む対策にまで対象とされるため検討してみてはいかがか。



凍上災害による道路のひび割れ

町長　町政懇談会で必ず出るのが町道の補修で、道路の陥没等、ひび割れが発生しており大型トラクターが走る場合に非常に危険だと感じている方が多い。国においても凍上による災害だという見方をしているようだ。路盤からの補修が必要と判断されている区間が20キロありそのうち5キロしか成果を上げていない。総務省のこの事業は令和7年度からであり、今後、この地方債を積極的に活用していき少しでも進捗状況を早めていきたい。

関係人口の増加

環境作り等の進捗状況は

答　受入態勢を準備している

問　令和6年度町長施政方針の中で『こども連れの長期滞在型ワーケーションのニーズに対応していくため、豊かな自然、魅力的な教育・保育・交通アクセスといった本町の優位性を活かした「保育留学」「おやこ地方留学」等の新たな移住・定住や交流人口・関係人口の創出にも積極的に取組む』と話されている。今後行われる二地域居住促進を図るためにも重要な施策であると考える。環境作りなど、現在までの進捗状況を伺う。

町長　庁舎内部での検討部分と民間事業者と協働し実施できる部分を併せて受入態勢を準備している。保育留学、おやこ留学を使い、安心して家族ごと長期・短期で厚真町に来て住んでいただき、子どもの生活や学習にも、様々な障害を持たずハードルを下げて来ていただくきっかけをつくるという意味のパッケージ化を図ろうとしている。住民票を移さず、お試しができる二地域居住の良さがある。受皿をしっかりつくる取組をする。

定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

○：賛成　　×：反対　　欠：欠席　　除：除斥
－：議事進行する議長は採決には加わらない

除斥とは、審議案件と利害関係がある議員がいるときに公正さを保つため、該当する議員を退席させること

会議・議決日	種類	議案名＼議員名	澤口千里	寺坂康生	折坂泰宏	菅原文子	秋永徹	橋本豊	伊藤富志夫	髙田芳和	三國和江	吉岡茂樹	渡部孝樹	審査結果
第9回臨時会 12／27	議案第1号	令和６年度厚真町一般会計補正予算（第14号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
第1回臨時会 1／10	議案第1号	苫小牧港港湾区域内の公有水面埋立てに係る意見	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第2号	厚真町議会議員期末手当支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第3号	厚真町特別職の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第4号	厚真町一般職の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第5号	厚真町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第6号	厚真町職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第7号	令和６年度厚真町一般会計補正予算（第15号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第8号	令和６年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第9号	令和６年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第５号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第10号	令和６年度厚真町簡易水道事業会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第11号	令和６年度厚真町下水道事業会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	請願第1号	（仮称）苫東厚真風力発電事業計画の地域住民との合意なき事業推進に反対	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	趣旨採択
第2回臨時会 2／3	議案第1号	林業専用道（規格相当）幌里チケッペ線開設工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第2号	令和６年度厚真町一般会計補正予算（第16号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	承認第1号	専決処分（令和６年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算（第３号）））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	承認

○：賛成　×：反対　欠：欠席　除：除斥　－：議事進行する議長は採決には加わらない

会議・議決日	種類	議案名＼議員名	澤口千里	寺坂康生	折坂泰宏	菅原文子	秋永徹	橋本豊	伊藤富志夫	髙田芳和	三國和江	吉岡茂樹	渡部孝樹	審査結果
第1回定例会 3／4	報告第4号	所管事務調査報告（各常任委員会）	報告事項のため採決はない											報告済
	報告第5号	委員会調査報告（新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会、風力発電施設に関する調査特別委員会）	報告事項のため採決はない											報告済
	報告第6号	現金出納例月検査の結果報告	報告事項のため採決はない											報告済
	議案第10号	厚真町表彰条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第11号	厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第12号	厚真町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第13号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第14号	厚真町外国青年英語指導助手の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第15号	厚真町国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第16号	厚真町子育て支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第17号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第18号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	承認第1号	専決処分の承認（令和6年度厚真町一般会計補正予算（第17号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	承認
	議案第7号	令和6年度厚真町一般会計補正予算（第18号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第8号	令和6年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第9号	令和6年度厚真町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	報告第1号	専決処分の報告（町道軽舞豊丘線官光橋架替工事（下部工）請負契約の変更）	報告事項のため採決はない											報告済
	報告第2号	専決処分の報告（令和6年度町道幌内左岸線道路改良舗装工事請負契約の変更）	報告事項のため採決はない											報告済
	報告第3号	専決処分の報告（町道表町バイパス線道路改良舗装工事請負契約の変更）	報告事項のため採決はない											報告済

○：賛成　×：反対　欠：欠席　除：除斥　－：議事進行する議長は採決には加わらない

会議・議決日	種類	議案名＼議員名	澤口千里	寺坂康生	折坂泰宏	菅原文子	秋永徹	橋本豊	伊藤富志夫	髙田芳和	三國和江	吉岡茂樹	渡部孝樹	審査結果
第1回定例会 3／4	議案第1号	令和７年度厚真町一般会計予算	予算審査特別委員会へ付託											
	議案第2号	令和７年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算	予算審査特別委員会へ付託											
	議案第3号	令和７年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算	予算審査特別委員会へ付託											
	議案第4号	令和７年度厚真町介護保険事業特別会計予算	予算審査特別委員会へ付託											
	議案第5号	令和７年度厚真町簡易水道事業会計予算	予算審査特別委員会へ付託											
	議案第6号	令和７年度厚真町下水道事業会計予算	予算審査特別委員会へ付託											
第1回定例会 3／12	議案第1号	令和７年度厚真町一般会計予算（予算審査特別委員会報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第2号	令和７年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第3号	令和７年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第4号	令和７年度厚真町介護保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第5号	令和７年度厚真町簡易水道事業会計予算（予算審査特別委員会報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
	議案第6号	令和７年度厚真町下水道事業会計予算（予算審査特別委員会報告）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決

議会を傍聴しませんか

定例会は、毎年３月・６月・９月・12月に行われます。臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、定例会・臨時会とも、議会ホームページで議会の様子を生中継していますので、インターネットでもご覧いただけます。

■厚真町議会ホームページ
http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/

■問い合わせ先
厚真町議会事務局（☎ 27-2485）

議会のうごき

【１月】
６日　令和７年厚真消防出初式
７日　令和７年あつま新年交礼会
９日　新年挨拶まわり
10日　令和７年交通安全祈願祭、第１回臨時会、風力発電施設に関する調査特別委員会
12日　令和６年度第３回厚真町二十歳のつどい、交通安全合同新年交流会
14日　議会広報特別委員会
17日　１.17のつどい阪神･淡路大震災30年追悼式典、厚真町商工会新年会
20日　第１回胆振東部消防組合議会臨時会
21日　議会広報特別委員会
23日　都道府県町村会正副会長交流会
24日　党本部及び地方自治関係の国会議員訪問、厚真町老人クラブ連合会新年交流会、現金出納例月検査
26日　第18回あつま国際雪上３本引き大会
27日　産業建設常任委員会
28日　議会広報特別委員会、「厚真町と北海道電力株式会社による包括連携協定」締結に係る会議
29日　総務文教常任委員会
31日　三議長会会長会議

【２月】
１日　第25回ランタン祭り、スターフェスタ2025inあつま
３日　第２回臨時会
４日　豪雪地帯の振興に関する研修会及び令和６年度第３回総会、全国町村議員会館理事会・評議員会、全国町村議会議長会・町村議会議員共済会・全国町村議会議員互助会理事会、北海道・東北町村議会議長会定期総会
５日　全国町村議会議長会第76回定期総会、都道府県会長会、町村議会議員共済会代議員会、全国町村議会議員互助会代議員会、第88回胆振東部市町議会懇談会
６日　三議長会要請活動
７日　北方領土返還全国大会
11日　東京厚真会定期総会
13日　北海道町村議会議長会会長・副会長会議、北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会、北海道町村議会議長会理事会、北海道知事と本会役員との行政懇談会
21日　高知県町村長・町村議会議長大会、意見交換会
25日　新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会、第１回議員協議会、現金出納例月検査
26日　議会運営委員会
27日　北海道町村等監査委員協議会理事会、胆振管内町村等監査委員協議会定期総会・懇談会
28日　北海道町村等監査委員協議会第78回定例大会

【３月】
１日　国営かんがい排水事業勇払東部地区完了報告会・完了慰労会
３日　第１回安平・厚真行政事務組合議会定例会、ミーツ株式会社国土交通大臣賞受賞祝賀会
４日　第１回定例会（～12日）
６日　予算審査特別委員会（～11日）
７日　第77回日本消防協会定例表彰式
10日　全国市町村振興協会理事会
12日　新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会、第２回全員協議会、第２回議員協議会、議会広報特別委員会
13日　三議長会会長による懇談会
14日　三議長会主権者教育に係る要請活動
19日　第78回厚真中央小学校卒業証書授与式、第１回胆振東部日高西部衛生組合議会定例会
21日　議員研修会、新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会
25日　現金出納例月検査
26日　厚真町農業再生協議会通常総会、小野寺政務会長要請活動
27日　国営かんがい排水事業勇払東部地区事業完了懇談会
28日　第１回胆振東部消防組合議会定例会、新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会

スポーツ少年団紹介

厚真柔道スポーツ少年団

紹介者：宮副　千栄美さん

私たちは、柔道はもちろんですが、遊びやゲームを取り入れ、「できない事」を「できる事」に増やすことを目標に、礼節を学び、指導者や仲間との関わりの中で楽しみながら練習を行っています。

卒団しても、いつでも来られる場所を目指し、現在卒団生が指導に携わっています。少しでも気になった方は、見学や体験をいつでも受け入れできますので、お気軽にご連絡ください。

- 2000 年設立
- 代 表 者　宮副　千栄美さん
- 活 動 日　月・水・金曜日　18:30 ～ 20:30
  （年齢に応じた時間変更あり）
- 活動場所　スタードーム内柔道場
- 連 絡 先　宮副　千栄美さん 080-3548-1981
  ぼん理容院　0145-27-2771